

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)・②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり9月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

7月19日(火)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は9月初旬に郵送します。



「松島地蔵」(西浦町)

むかしむかし、松島に海の守り本尊として地元の船乗りたちに親しまれていたお地蔵さんがあった。漁師たちは、漁の安全と大漁を願って、お地蔵さんにいつもお参りした。

お地蔵さんは1854年の大地震による津波で、周りの松の木とともに流されていってしまった。しばらくして、漁師たちはとても残念に思い、ありし日の姿に近い姿に似せて新しいお地蔵さんを作った。

ある日、漁師が漁に出かけると、地引網に流されてしまったお地蔵さんがひっかかった。お地蔵さんは両手首がとれ、鼻の先が折れてしまっていた。その後、右手は見つかったが左手はついに見つけれなかった。漁師は急いで岸へ戻り、村の漁師たちに伝えた。

漁師たちは大光院へそのお地蔵さんを運び奉った。そのうち大光院の初代松島地蔵のことを、生き返り地蔵と呼ぶようになった。

奇跡の生還を遂げた初代の石像は現在、西浦町橋田地区の古寺・大光院の本堂に続く石段の登り口に鎮座し、現在の松島地蔵とともに地元の人々の信仰を集めている。両手首、鼻の先を破損し、右手は見つかりましたが、左手は見つからず15年前に新しく造りました。鼻は今でもかけたままになっています。橋田の子どもたちはお地蔵さんの前を通るときは自然と手を合わせるそうです。高校・大学受験の合格祈願や、なかには友達とけんかして仲直りの祈願に来る子もいるそうです。

2代目松島地蔵も海の守り本尊として地元の船乗りたちに親しまれています。

お地蔵さんの左手は、西浦海岸に流れ着き、松島の松の種をお運びになり、自らの左手から立派な松を生やされたのではないかという言い伝えが今でも残っています。それが「石割りの松」と言われています。

お地蔵さんは今でも子どもや地元の人々にしっかりと根づいています。



◆5月号の答え

5月号クイズまちがいさがし
(なかつばらの石薬師)の当選者
応募総数86通
正解者73人
当選者(敬称略・50音順)
形原町 石川 楓
三谷北通 大竹則永
中央本町 太田ゆ紀子
三谷町 近藤一樹
豊岡町 鈴木和雄
御幸町 鈴木貞美
鹿島町 谷村美安
水竹町 永谷静代
三谷町 松下泰果
神明町 松本浩輔
おめでとうございます。賞品は7月初旬に発送します。